シナリオ概略

1. メトトレキサート服用患者へのフィジカルアセスメント

A　関節リウマチの判明

【患者背景】患者名：芳山　和子（よしやま かずこ）、36歳女性

関節リウマチに対して以下の薬剤による治療が開始となった。

|  |
| --- |
| メトトレキサートカプセル 2 mg　1回1カプセル（1日2カプセル）  毎週　日曜日　1日2回　（9時、21時）　4日分（投与実日数）  メトトレキサートカプセル 2 mg　1回1カプセル（1日1カプセル）  毎週月曜日　1日1回　9時　4日分（投与実日数） |

B　治療薬による副作用（間質性肺炎）の発現

5ヶ月後、1ヶ月に1度の薬をもらいに薬局に来た。

1. ロキソプロフェン服用患者へのフィジカルアセスメント

A　腰痛の判明

【患者背景】患者名：星　泉（ほし いずみ）、78歳女性

腰痛に対して以下の薬剤による治療が開始となった。

|  |
| --- |
| ロキソプロフェンナトリウム錠 60 mg　1回1錠（1日3錠）  1日3回　朝昼夕食後　14日分 |

B　治療薬による副作用（喘息）の発現

1週間後、体調不良により薬局に相談に来た。

1. クラリスロマイシン服用患者へのフィジカルアセスメント

A　気管支炎の判明

【患者背景】患者名：内海　薫（うちうみ かおる）、73歳女性

気管支炎に対して以下の薬剤による治療が開始となった。

|  |
| --- |
| クラリスロマイシン錠 200 mg　1回2錠（1日4錠）  1日2回　朝夕食後　5日分  L-カルボシステイン錠 500 mg　1回1錠（1日3錠）  1日3回　朝昼夕食後　5日分 |

B　治療薬による副作用（QT延長、洞徐脈）の発現

5日後、体調不良により薬局に相談に来た。

1. ピオグリタゾン服用患者へのフィジカルアセスメント

【患者背景】患者名：佐倉　紬（さくら つむぎ）、62歳女性

糖尿病に対して以下の薬剤による治療が開始となった。

|  |
| --- |
| メトホルミン塩酸塩錠 250 mg　1回1錠（1日3錠）  1日3回 朝昼夕食後　14日分  ピオグリタゾン錠 30 mg　1回1錠（1日1錠）  アログリプチン安息香酸塩錠 25 mg　1回1錠（1日1錠）  1日1回　朝食後　14日分 |

B　治療薬による副作用（うっ血性心不全）の発現

半年後、1ヶ月に1度の薬をもらいに薬局に来た。

1. ボグリボース服用患者へのフィジカルアセスメント

A　糖尿病の判明

【患者背景】患者名：深町　一夫（ふかまち かずお）、54歳男性

糖尿病に対して以下の薬剤による治療が開始となった。

|  |
| --- |
| ボグリボース錠　0.2 mg　1回1錠（1日3錠）  1日3回 朝昼夕食直前　30日分  シタグリプチンリン酸塩水和物錠　50 mg　1回1錠（1日1回）  1日1回 朝食前　30日分 |

B　治療薬による副作用（腸閉塞）の発現

半年後、1ヶ月に1度の薬をもらいに薬局に来た。

1. アモキシシリン服用患者へのフィジカルアセスメント

A　急性中耳炎の判明

【患者背景】患者名：堀川　吾郎（ほりかわ ごろう）、16歳男性

急性中耳炎に対して以下の薬剤による治療が開始となった。

|  |
| --- |
| アモキシシリンカプセル 250 mg　1回3カプセル（1日3カプセル）  1日1回 朝食後　7日分 |

B　治療薬による副作用（下痢）の発現

3日後、整腸剤を買いに薬局に来た。

1. 酸化マグネシウム服用患者へのフィジカルアセスメント

A　便秘・糖尿病の判明

【患者背景】患者名：湯川　学（ゆかわ がく）、70歳男性

2型糖尿病と便秘に対して以下の薬剤による治療が開始となった。

|  |
| --- |
| シタグリプチンリン酸塩水和物錠 50 mg　1回1錠（1日1錠）  1日1回　朝食後　30日分  酸化マグネシウム錠 500 mg　1回2錠（1日4錠）  1日2回　朝夕食後　30日分 |

B　治療薬による副作用（高マグネシウム血症）の発現

半年後、1ヶ月に1度の薬をもらいに薬局に来た。

1. フロセミド服用患者へのフィジカルアセスメント

A　慢性心不全の判明

【患者背景】患者名：青葉　湊斗（あおば みなと）、70歳男性

慢性心不全に対して以下の薬剤による治療が開始となった。検査値：カリウム値：4.2 mEq/L

|  |
| --- |
| エナラプリルマレイン酸塩錠 2.5 mg　1回1錠（1日1錠）  1日1回 朝食後　28日分  ビソプロロールフマル酸塩錠 5 mg　1回1錠（1日2錠）  1日2回 朝夕食後　28日分  フロセミド錠 20 mg　1回1錠（1日1錠）  1日1回 朝食後　28日分 |

B　治療薬による副作用（低カリウム血症）の発現

半年後、1ヶ月に1度の薬をもらいに薬局に来た。検査値：カリウム値：2.8 mEq/L

1. テイコプラニン服用患者へのフィジカルアセスメント

A　メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）による感染症の判明

【患者背景】患者名：戸川　想（とがわ そう）、45歳男性、体重：63 kg

MRSA感染症に対して以下の薬剤による治療が開始となった。検査値：赤血球440万（4.4×106/μL）､Hb 15.1g/dL､Ht 44％､白血球14,500（14.5×103/μL）､血小板32万（320×103/μL）、CRP 11mg/dL

|  |
| --- |
| （第1日目処方）  点滴静注注射用テイコプラニン（200 mg/バイアル4本）　800 mg  1バイアルあたり生理食塩液 5 mLを加えて溶解後、250 mLの生理食塩液に希釈し投与、朝夕2回  （第2日目以降処方）  点滴静注注射用テイコプラニン（200 mg/バイアル2本）400 mg  1バイアルあたり生理食塩液 5 mLを加えて溶解後、250 mLの生理食塩液に希釈し投与、朝1回 |

B　治療薬による副作用（腎不全）の発現

1週間後、病室でのアセスメントを行う。検査値：クレアチニンクリアランス30 mL/min、BUN 40 mg/dL、S-Cr 2.8 mg/dL、ALT 7.1 U/L、AST 12.5 U/L、γ-GTP 10.0 U/L

1. シロスタゾール服用患者へのフィジカルアセスメント

A　アテローム血栓性脳梗塞の判明

【患者背景】山本　モミジ（やまもと もみじ）、55歳女性、体重：70 kg

アテローム血栓性脳梗塞の急性期治療後の退院時において、以下の薬剤による治療が開始となった。検査値：クレアチニンクリアランス 29 mL/min、BUN 40 mg/dL、S-Cr 2.4 mg/dL、ALT 7.1 U/L、AST 12.5 U/L、γ-GTP 10.0 U/L、血小板数 20万（20×104/μL）

|  |
| --- |
| アスピリン腸溶錠100 mg　1回1錠（1日1錠）  クロピドグレル硫酸塩 75 mg　1回1錠（1日1錠）  1日1回　朝食後　14日分  シロスタゾール口腔内崩壊錠 100 mg　1回1錠（1日2錠）  1日2回　朝夕食後　14日分 |

B　治療薬による副作用（心房細動）の発現

10日後、体調不良により薬局に相談に来た。